



1000000人のキャンドルナイト

灯を消し、スロースターを。

6月21日(土)夏至 - 7月7日(月) 夜8-10時

でんきを消して、スローな夜を。

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。
2008年の夏至の日、6月21日夜、8時から10時の2時間、
みんなでいっせいでんきを消しましょう。
ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。
しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。
ある人は省エネを、ある人は平和を、
ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。
プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。
それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、
文明のもっと大きな可能性を発見する
プロセスであると私たちは考えます。
一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、ただ2時間、でんきを消すことで、
ゆるやかにつながって「くらやみのウェーブ」を
地球上にひろげていきませんか。
でんきを消して、スローな夜を。

よびかけ人代表

辻信一 明治学院大学教授／NGOナマケモノ倶楽部 世話人

藤田和芳 大地を守る会会長

マエキタミヤコ NPOサステナ代表

竹村真一 京都造形芸術大学教授／EarthLiteracyProgram代表

枝廣淳子 ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表

立松和平 作家

面手薫 照明デザイナー／照明探偵団団長

米谷啓和 日本青年会議所元会頭

2008年呼びかけ人一覧(86名)

鎌田慧(ルポライター) 足立房夫(社団法人 協力隊を育てる会 会長) 北山陽一(ゴスペラーズ) 酒井雄二(ゴスペラーズ) 小松光一(法政大学非常勤講師) 白石源次郎(株式会社 花の企画社 代表取締役) 中村隆市(スロービジネススクール校長) 見城美枝子(青森大学教授・エッセイスト) 大和田順子(ロハス・ビジネス・アライアンス(LBA) 共同代表) 高木剛(日本労働組合総連合会 会長) 早野透(朝日新聞コラムニスト) 石丸芳樹(石丸製麺株式会社) 佐藤環(株式会社全通 会長) 庄司昭夫(株式会社アレフ代表取締役社長) 中西和夫(日本食品工業株式会社) 加藤登紀子(歌手) 東都生活協同組合川辺みどり(東京海洋大学 准教授) 池田昭(弁護士) 及川修(株式会社研空社) 緑川芳樹(グリーンコンシューマー研究会代表) 稲津恒己(自然食料品グルッパ代表) 浜畑賢吉(俳優・大阪芸術大学教授) 橋爪康ニ・和子(株式会社旭商店) 雨谷麻世(歌手) 川原ひろみ 小柳昌之(株式会社ハーバー研究所 代表取締役社長) 朴慶南(作家) 一ノ宮嘉道、泉庄治(道の駅 奥熊野古道ほんぐら) 株

式会社胆江日日新聞社、横川寛(株式会社すかいらーく社長) 井口俊之(井口食品株式会社 代表取締役) 富山和子(立正大学名誉教授) 藤田和芳(大地を守る会 会長) 川北秀人(IHIOEI 人と組織と地域のための国際研究所代表者) 新保ちい子(生活クラブ生活協同組合) 松本道明(株式会社流通サービス 専務取締役) 播磨靖夫(財団法人たんぼの家 理事長) 堂本暁子(千葉県知事) 三橋規宏(環境ジャーナリスト) 宮城治男(NPO 法人 ETIC、代表理事) 古川康(佐賀県知事) 堀田正彦(株式会社オルター・トレード・ジャパン代表取締役) 小原文夫(農業) 大沼勝、斎藤京一(綜美薬品株式会社 代表取締役) 近藤正明(株式会社 長有研) 秋川正(株式会社秋川牧園) 川上工(リバーグリーン株式会社 代表取締役) ライオン菓子株式会社、株式会社ゼンケン、岡崎眞(イーブック・システムズ株式会社 代表取締役) 稲本正(オークヴィレッジ代表) 堀井修(自治体“農”ネット代表) 柴田敬三(株式会社ほんの木 代表取締役) 須田洵(財団法人すこやか食生活協会 理事長) 横田克己(特定非営利活動法人 地球環境市民協議会) 宇都宮高明((有) 三里

塚航業 代表取締役) 野田智義(特定非営利活動法人アイ・エス・エル理事長) 橋本稔(株式会社 札幌中一 代表取締役) 堂園晴彦(医療法人堂園メディカルハウス 院長) 池田 徹(株式会社生活サポートクラブ 代表取締役) 山本コウタロー(フォーク歌手・大学教授) 陽 捷行(北里大学・副学長) 岩波則康(NPO せっけんの街 事務局長) 越膳百々子(株式会社食のスタジオ 代表取締役) 遠藤栄治(株式会社 遠藤蒲鉾店 代表取締役) 高野孟(インサイダー編集長) 石田紀郎(京都学園大学バイオ環境学部 教授) 若森資朗(バルシステム生活協同組合連合会・理事長) 川人棠(ハイパープランツ株式会社CEO) 本橋成一(ボレボレタイムス社) 中村靖彦、加藤三郎(NPO 法人 環境文明 21・共同代表) 関信雄(ビオ・マーケット代表) 栗原彬(政治社会学者) 佐藤彌右衛門((資) 大和川酒造代表社員) 岸康彦((財) 日本農業研究所 研究員) ばばこういち(放送ジャーナリスト) 松本大地(株式会社 商い創造研究所 代表取締役) 大川原毅、株式会社浪漫堂、西川栄朗(安全な食べものネットワーク オルター代表) 市毛良枝(俳優) 村井吉歌(早稲田大学教授)

キャンドルナイトって何？



2008年は、キャンドルナイトの活動について
改めて深く考えた年でもありました。

なぜ、キャンドルナイトをはじめたのか？

今後も続けていく意味は？

キャンドルナイトの誕生を振りかえってみました。

カナダの自主停電運動

さかのぼること2001年、カナダ。1ヶ月に1基ずつ原子力発電所を建設するという米ブッシュ大統領の政策に反対する「カナダの自主停電運動」がヒントになっています。

このカナダの運動を見て「日本でもやってみよう」と言い出したのは、明治学院大学教授の辻信一さんでした。辻さんは、環境問題をテーマに活動する「ナマケモノ倶楽部」というNGOを作った方です。一方で辻さんは「カフェスロー」を経営しています。

まずはこのお店のイベントとして始めました。カナダの「自主停電運動」は真っ暗にしてやるんですが、それでは子供が暗闇に驚いて泣いてしまいます。そこで辻さんは、真っ暗闇の中でろうそくを灯しながらやることを思いつきました。「あたたかいろいろそくの灯りがともった暗がりのカフェで過ごす時間はとても心地がいい」参加していただいた方々からの声もまた、あたたかいものでした。

「カフェスロー」での「自主停電運動」の評判の良さを聞いた「大地を守る会」（有機野菜の宅配サービスをしており、全国の農家と生活者の間をつなぐ活動をしているNGO）の藤田和芳さんは「大地を守る会」を中心に秋に「キャン

ルプロジェクト」を実施しました。参加したひとに書いてもらった作文には、心を打つ言葉がたくさん並んでいました。

「いつもお茶をたてるときは、15分しかかからなかったのだけど、ろうそくの灯りだけでやったら1時間かかりました。手元が不安定で大変だったけど、ゆっくりと丁寧に、時間をかけてたてたお茶は、とても美味しかったです」

「原発反対」と100万回叫ぶより、1人1人が生活のワンシーンでこういう時間を自由に体感していくことが、いつかほんとうに平和な暮らしへとつながるのではないか。集まってきた言葉を読んでいて、2人はそう思ったのです。

辻さん、藤田さんに加え、マエキタさん、竹村さん、枝廣さんが集まり、もっと多くのひとが気軽に参加できるようにという想いをこめて、2003年夏至の日、「100万人のキャンドルナイト」という名前をつけ始めたのです。遠い海の向こう、カナダの運動を見て、日本で始まった「100万人のキャンドルナイト」。いつの日か、カナダでも、そして世界中のひとが、夏至の夜ろうそくの灯りをもとして過ごしてくれたなら、月に立って見つめる地球には、あたたかいくらやみのウェーブが広がるのです。わたしたちはこの日を願ってやみません。



夏至と冬至

「日本でいつせいに電気を消す日は、いつにしようか」これについては、たくさん議論がありました。地球のことを考える「アースデイ」、平和を願った「終戦記念日」など。

でも私たちは、それぞれの国の社会事情や、人間の都合で決められた記念日ではなくて、地球に住んでいれどこの国でも必ずやってくる共通の日に開催することに決めました。

「夏至」の日と「冬至」の日は地球にいればどこであろうと、必ずやってきます。夏至は北半球では昼の時間が最も長く、夜が最も短い日（反対に、南半球では昼が最も短く、夜が長い日なのです）となります。わたしたちが暮らす地球が太陽を中心として、今、宇宙のどのあたりにいるのか。そういうことを考えながら、主義や主張、立場や国籍の違いを超えて、いつの日か地球ぜんぶで開催され、くらのやみのウェーブが広がることを願って、この日に開催することにしたのです。

からっぽの時間

「100万人のキャンドルナイト」は、無理して電気を消したり、大声をあげて反対を叫ぶ運動ではありません。みんなが電気を消すことが、地球温暖化の防止

になるということが一番大切な目的でもないのです。テレビや部屋の照明は落としても、ラジオは聴いていたいし、携帯電話で話したい、そういう普段の暮らしの事情をやめてまで、ろうそくの灯りで過ごしても、無理をすることの先にあったかい未来があるとは思えないのです。

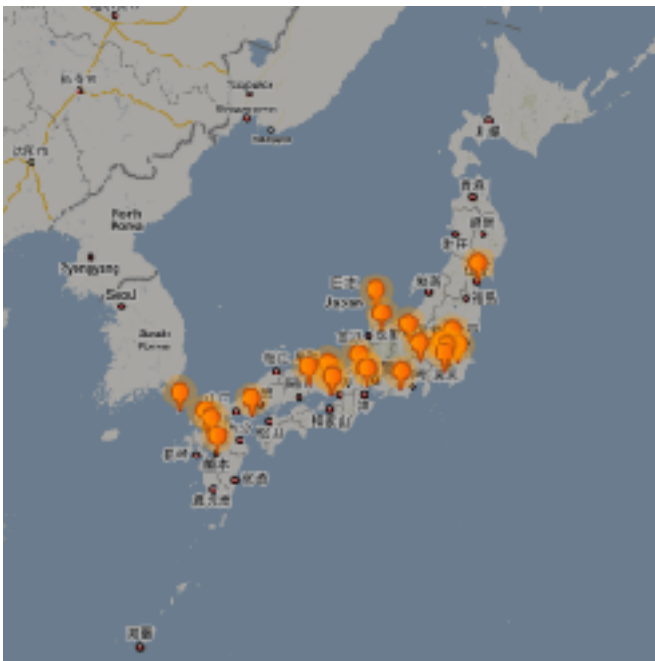
普段の暮らしをしながらも、過剰な電飾の明かりにまみれた日常から少しだけ、自然の光だけで「過ごしてみる」。1年のうちたった2時間、好きなろうそくの灯りをともしてみる。この時間をどういう風に過ごすのかも、みなさんのアイディア次第です。

恋人と2人きりの時間。久しぶりの友達と会ってお酒を飲みながら語る時間。音楽を聴きながら1人きりで過ごす時間。そうして1人1人が過ごす時間の先の未来にわたしたちが描いているのは、自然であたたかい平和な地球の姿です。

100万人のキャンドルナイト実行委員会、7人の呼びかけ人、パートナーの環境省は、最初のいいだしっぺにすぎません。みなさん一人一人が主催者です。相反する考え方を持っていてもかまわないのです。普段から大量の電気をつかっているから参加できない、なんてことはないのです。そんなゆるやかな繋がりがつくる時間を私たちは「からっぽの時間」と呼んでいます。

イベント

国内、国外合わせて **951** 箇所
それぞれ独立して運営しています。



ウェブサイト上でのイベント登録数は、2008年夏至には、国内・国外を合わせて過去最高の951箇所となりました。初年度の2003年夏至は、64箇所だったのですが、次の年からは2004年夏至は239箇所。2005年夏至は311箇所、2006年夏至は473箇所、2007年夏至は、903箇所とイベント登録数は、年を重ねるごとに増え続けております。今年も、洞爺湖サミットの開催に向けて、期間延長したこともイベント数の増加とつながったようです。

これらすべてのイベントは独立採算、自発的に発生したイベントです。キャンドルナイトのウェブサイトは、自分の家の近くでもキャンドルナイトをやっていることを知るだけでなく、同じ時に多くの場所や国々でイベントが開催され、人と人が繋がるイメージを可視化しています。

全国で開催されています。



「テキーラ&ラム専門店にキャンドルナイト」in 青森

テキーラ&ラムの専門店「エル・ハラペーニョ」では、今年からキャンドルナイトに参加。当日の参加方法は、1人1個のキャンドルを持参すること。全員でキャンドルを灯し、テキーラ&ラムを片手に「サルー！（乾杯！）」青森で出会った最高の仲間たちと神秘的な夜のひとときを過ごしました。



「廃油でエコキャンドルをつくろう！」in 福島

廃油を使ったエコキャンドルと牛乳パックを使ったキャンドルホルダーを制作。七夕に手作りのキャンドル&ホルダーでキャンドルナイトを企画。「七夕キャンドルナイト」を開催しました。キャンドルを灯しながらのゴスペルコンサートもあり、最高のキャンドルナイトに。



「たなばた&音楽会」in 埼玉

七夕の前前夜祭として、7月5日(土)に音楽会を開催。シンガーソングライター、森圭一郎のライブ&トーク(唄ツアーリズム2007~2009)をキャンドルの灯りの元でしっかりと実施。コンサートの後は、会場全員で、七夕に向けて短冊に願いを書き、笹に結んで・・・。



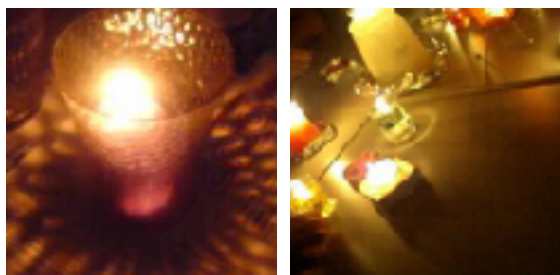
「くらやみCAFE」in 熊本

北海道洞爺湖サミット(七夕)前夜の7/6(日)に、キャンドルナイトを「ティアもったいない食堂」で、キャンドルナイトを行いました。オープニングライブの後、20時に照明を消し、エコキャンドルを灯して。スタッフ合わせて約40人が参加し、店内では、座りきれないほどの大盛況ぶりでした。



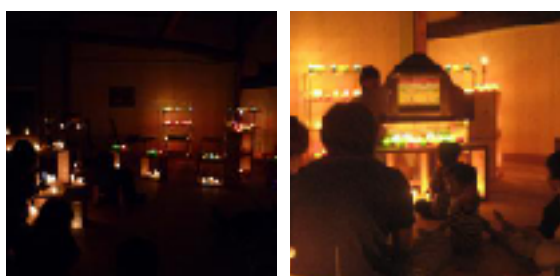
「100万人のキャンドルナイト in toyama」in 富山

当日は、来場者とスタッフで、アーティストキャンドルを。会場には、キャンドルを使って「eco」文字をつくって。300個のキャンドルに囲まれて、スローな夜を過ごしました。会場では、ミニライブ、中国に植林に行ったスタッフの報告、ハチドリの一滴の朗読などがあり、環境を考える2時間半となりました。



「キャンドルナイトin 山梨県立大学」in 山梨

リメイクキャンドル作りの後、キャンドル点灯開始！ 山梨大学の学生が、手作りのリメイクキャンドルを作りました。キャンドルホルダーは、ガラスで代用。地元ホテルのご好意により、無料で提供してもらいました。ガラスにキャンドルの灯りが揺れるのがきれい。



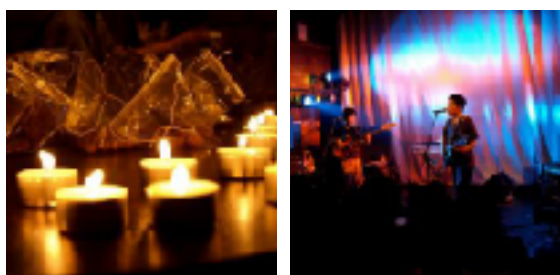
「100万人のキャンドルナイト2008 夏至 in 古木里庫」in 香川

古材を集めたギャラリー「古木里庫」内にキャンドルのステージが登場！ ギターデュオShopMasterによる「イマジン」がはじまると、みんな心をひとつに。キャンドルの灯りに包まれて、子どもが主役の紙芝居なども。思い出に残る夜となりました。



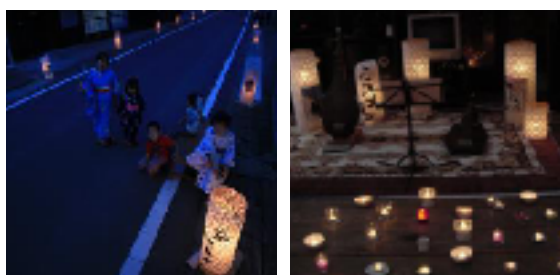
「みょうこうライトダウン&キャンドルナイト2008」in 新潟

廃油で作った色とりどりのエコキャンドルに点火！ ハートや妙高市の市のマーク、そして文字など、キャンドルアートを楽しみました。地元、高校生の吹奏楽部による演奏、絵本の読み聞かせコーナーなどもあり、充実したイベントに。



「722 PROJECT×月見ル君想フ presents 風と太陽の島音楽祭～東京Pre Event」in 東京

種子島のおつまみ「おみそ豆」とキャンドルを入口で配布。味覚から視覚から聴覚まで五感でスローな時間を味わってほしいという願いを込めました。キャンドルで照らされた会場は、DRACOの民族的な音色やキセルのやさしいハーモニーにオーディエンスもうっとり。



「森ほたる」in 静岡県

夏至はあいにくの雨だったので、屋内でのイベントに。子どもたちはゆかたでおめかし。みんなが床に座り、琵琶の音を静かに聴きました。街には、キャンドルがあふれ、暗闇の道案内を。夏の夜の貴重な1日となりました。

Webニュース記事



東京八百夜灯 2008

毎年、夏至に開催される、有機野菜宅配の「大地を守る会」プロデュースの「東京八百夜灯2008」をWebにてご報告。今年も、環境大臣をスペシャルゲストに、ライブやエコイベントなど盛りだくさんの内容に。地産地消の食材を使った「フードマイレージ屋台」には、黒山の人だかりが！ 雨だというのに芝公園の来場者は、4,000人と大盛況でした。東京タワーのライトダウンを会場中でカウント。贅沢なキャンドルナイトになりました。



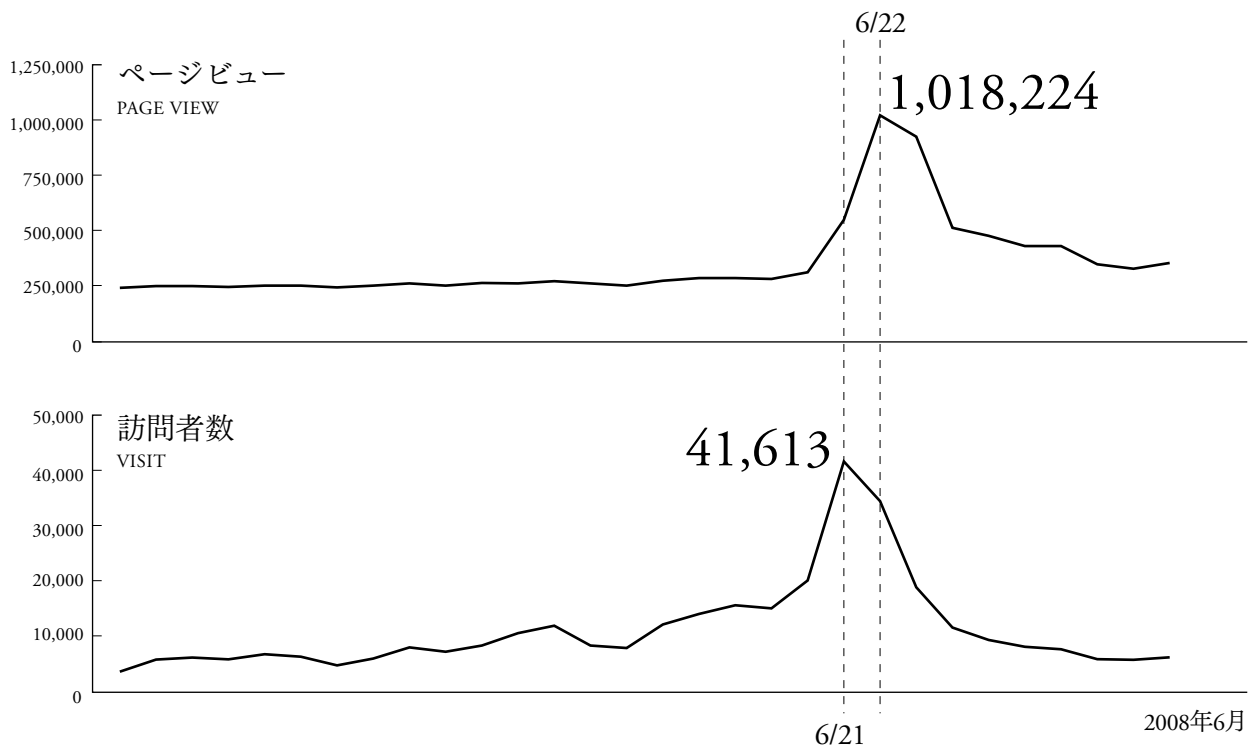
大阪キャンドルナイト 2008

大阪のキャンドルナイトは、毎年、大盛況だという情報を聞き、さっそく大阪へ。キャンドルナイト当日は、大切な人と過ごして欲しいという願いを込めて、6月の初旬に開催しました。次回に行われるキャンドルアーティストのCandle JUNさんの代々木公園イベントにつなげるために、“キャンドルリレー”を実施。地元小学生が「20年後の自分」をテーマとした作品を大阪から東京へ。地方イベントもタイムリーにニュースでご紹介します。

ウェブ

2008年6月 総アクセス数

4,769,415

 PV (ページビュー)

キャンドルナイトの「要」はインターネットです。

<http://www.candle-night.org>

ページビュー(PV)

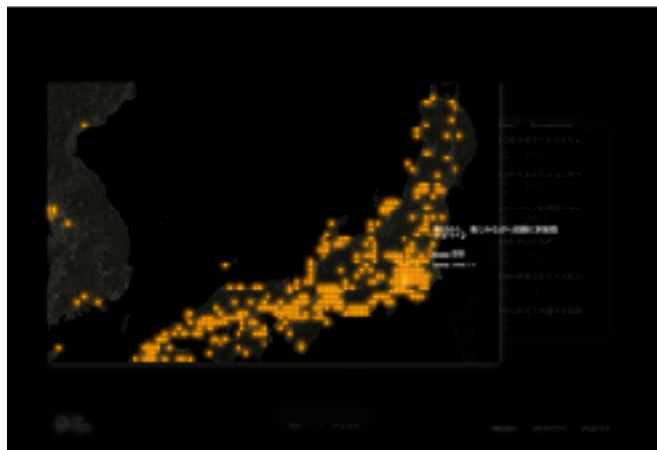
Webサイトの訪問者のブラウザにHTML文章(Webページ)が1ページ表示されるのが1ページビューです。通常、訪問者はサイト内の複数のページを閲覧するため、訪問者数(visit)よりもページビューのほうが数倍多くなります。ページビューはテレビ広告のGRPに近い概念でリーチ(到達者数)とフリークエンシー(平均接触頻度)に因数分解して媒体力を測定することができます。



©AD、D: 樋口賢太郎 ©Pr: 吉本龍司

◎キャンドルナイト | メインサイト

2008年夏至よりウェブサイトを更新しました。
 いままでどちらかというとアルファベットが多く、
 都会的なイメージだったものを
 日本語を中心とした親しみやすいデザインに変更しました。
 さまざまな地域の幅広い年齢層にも
 受け入れてもらえるデザインです。



◎企画、制作: Earth Literacy Program ◎プロデューサー: 竹村 真一 ◎ディレクター/
 インタフェースデザイン/Flashオーサリング: アラカワ ケンスケ ◎PL: 玉利康延、
 石元龍太郎 ◎Flashオーサリング: 鈴木 健(サイナー) ◎ケータイ版プログラミング/
 CMS: 西村 潤(サイナー) ◎サーバサイド/CMS: 鈴木 巖(サイナー) ◎HTML版
 デザイン: 姉川たく(カニカピラ) 園部道子(カニカピラ) ◎HTML版プログラミング:
 佐々木 学(amd.) ◎HTML版マネージャー: ヒワダ ヨウコ(カニカピラ) ◎インタ
 フェースデザイン アシスタント: フルダテ ジュンイチ ◎協力: (株)プロジェクト・タオス

◎キャンドルスケープ

個々人の営みは、小さくても、そのピースが
 ジグソーパズルのようにつながると、大きな変革の力となる。
 2003年夏至のはじめてのキャンドルナイトから、
 ささやかな呼びかけへの賛同の輪が、口コミ、
 メルコミで予想外の反響で広がっていきました。
 「キャンドルスケープ」は、そうした見えない思いのつながり、
 共感のウェーブをリアルタイムで
 モニターしてみたいと考えて作った地図です。

「ココロノアカリ」を見る

100万人のキャンドルナイトに参加する人たちが
 “ココロノアカリ”をリレーする参加型プロジェクトです。
 メッセージを投稿すると「candle scape」という地図の
 あなたの住んでいる地域に“ココロノアカリ”が灯ります。



◎制作: キャンドルナイトクリエイティブチーム

◎オンオフミュージアム

全国のキャンドルナイトを紹介している
 まさにここは、みんなのMUSEUMです。
 それぞれのキャンドルナイトを消灯前、
 消灯後の写真を送ってもらい掲載しています。
 タイムリーにイベント開催シーンが
 分かるのも話題となっています。



CD:マエキタミヤコ

AD:Candle JUNE、城内宏信

D:城内宏信(IN THE CASTLE DESIGN OFFICE)

P:伊藤菜衣子(SaikoCamera)

S:井口さおり

H&M:スガタクマ

2008年夏至ポスター

今年のメインビジュアルのコンセプトは、洞爺湖サミットの開催国であることを意識し、“多様性”がテーマ。日本人だけではなく世界中の子どもたちに撮影の参加をしてもらいました。いままで女性一人だけの写真が多かったのですが、複数の幅広い年齢層の子どもたちに協力してもらうことで、キャンドルナイトの新たな可能性を表現しています。子どもたちの自由なふるまいもすべて、“多様性”です。

多言語翻訳

2008年夏至は、海外チームが大活躍をし、
ニュースレターを発行。
キャンドルナイトを世界に広く伝えました。
ニュースレター登録者数(2008年10月17日現在)74の国と地域、
約700件(有効アドレスベース)8/18データより1カ国増。

世界にキャンドルナイトの輪が
広がっています。

Chief Director: 枝廣淳子

Director: 佐藤千鶴子

Chief Editor: 岸上祐子

(有)イーズ

英語版ウェブサイト担当: 信岡良亮



約 **700** 件 **74** の国と地域、

アラブ首長国連邦	コスタリカ	ハンガリー	マレーシア	ポルトガル	スウェーデン
アルゼンチン	キューバ	インド	マーシャル諸島	ルーマニア	スイス
オーストリア	チェコ	インドネシア	モリシャス	ルワンダ	台湾
バハマ	デンマーク	イラン	モザンビーク	サウジアラビア	タンザニア
バングラデッシュ	エクアドル	イスラエル	ネパール	セルビア・モンテネグロ	タイ
ベラルーシ	エジプト	イタリア	オランダ	シンガポール	トルコ
ベルギー	エリトリア	日本	ニュージーランド	スロバキア	英国
ボツワナ	エストニア	ヨルダン	ナイジェリア	スロベニア	米国
ブラジル	フランス	ケニア	パキスタン	南アフリカ	ウガンダ
ブルガリア	ドイツ	韓国	ペルー	スペイン	ベトナム
カナダ	ガーナ	リトアニア	フィリピン	スリランカ	ジンバブエ+バーレーン
中国	ハイチ	ルクセンブルク	ポーランド	スーダン	

“呼びかけ文”も20カ国語を翻訳して多言語展開をしました。
キャンドルスケープを使って地球大の広がりをもせたのも今年の特徴です。

ロシア・韓国・北京・広東・イタリア・スペイン・チェコ・ドイツ
フランス・アラビア・ポルトガル・タイ・トルコ・ベトナム・ペルシャ
フィリピン(タガログ)・インドネシア・オランダ・英語・日本語

届いたメッセージの一例

We can make the world a better place...
We need only do our best and
care for the earth..
The earth and its future depend on our actions.
—mari & rafa

みんなで世界をよりよい場所にできるはず。
みんなでベスト尽くして、地球を大切にすることでよいのだから。
地球そして未来は私たちの行動にかかっています。

촛불은 사람을 움직이고, 세계를 움직입니다.

—dotori

キャンドルのともしびは人を動かし、世界を動かす。☒

한 박자 진진히! 촛불은 나에게 쉬포같은 것. —취

コンセントを外して、一拍、ゆっくり！

프리를 뽏고 한박자 진진히!!! —Eunjin

一呼吸、ゆっくり！キャンドルのともしびは、私にとって休止符のようなもの

讓我們一起愛地球?! 就從現在開始!! —wing

みんなで地球を大切にしよう！今すぐに！

アジア各地を中心に世界中でキャンドルナイトが開催されました。
夏至に合わせて、韓国・香港・台湾・北京でも消灯イベントの報告があり、
世界へ少しずつ広がっている様子に胸を打たれた年でもありました。

◎モーリシャス Earth Candle Night Mauritius

日時 5月2日18:30～19:30の1時間。

モーリシャスで第3回キャンドルナイトが行われました。

Association Civique Midlands、

First Steps NetworkなどのNGOが主催。

Ministry of public utilities(公共事業省)や

Central Electricity Board(中央電力局)も協力しています。

イベントは、キャンドルナイトの詩の朗読で始まり

セミクラシックな器楽奏へと続けました。モーリシャスでは、

これからも省エネルギーを推進していくことでしょう。

※次回は2009年には5月8日に開催される予定です。



◎韓国 Candle Night Korea

参加都市 ソウル・大邱・大田

ソウルのイベント 6/21(土)18:00～22:00(消灯20:00～21:00)

場所 Nソウルタワー、ほかソウル市内で街灯がライトダウン



◎香港 Dim It

日時 6/21(土)15:00～21:00(消灯20:30～21:30)

場所 遮打花園(Chater Garden, Central)

ビクトリア・ハーバー地区のほとんどの施設で1時間の消灯。



◎台湾 Lights Out Day

台北・桃園・台中・台南・高雄・花蓮・宜蘭など9都市が参加。

101 Tower.Mirama Ferris Wheelが消灯

日時 6/21(土)20:00～21:00

場所 大安森林公園



◎北京 Lights Out Day

四川大地震の犠牲者の冥福を祈って、1時間の消灯。

ほかの参加都市:天津、鄭州、深圳、杭州、南京、成都

※ハワイマウイ島やドイツ・ベルリン、ベラルーシでも開催の報告がありました。

環境省と連携しています。



NGOのよびかけに政府・企業が呼応、全国的に広がった「新しい社会運動」として、100万人のキャンドルナイトのよびかけに、環境省がパートナーシップを組んでいます。

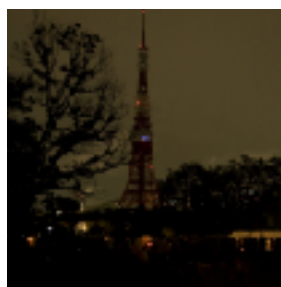
2004年夏至に、環境省と共同で製作したポスター | 出演協力・宮崎あおい / 女優
ポスターは、全国6,000箇所以上の消灯施設や239イベント、その他希望者に配布された。

七 タ ラ イ ト ダ ウ ン ブ ラ ッ ク イ ル ミ ネ ー シ ヨ ン 2 0 0 8 &

環境省では、6月21日(土)を「ブラックイルミネーション2008」
7月7日(月)を「セタライトダウン」として、日本中に
企業や施設に消灯を呼びかけました。
その結果、149,939か所の施設が参加し、
約2,371,786.51kWhの電力の削減につながりました。
これは925tのCO2排出を削減し、約6万4000世帯の1日の排出量に相当します。



東京タワー | 消灯前



消灯後

総消灯施設

149,939 か所

総削減電力量

2,371,786.51 kWh

消灯施設

6月21日(土) 73,544か所

7月7日(月) 76,397か所

削減電力量

6月21日(土) 1,150,748.35kWh

7月7日(月) 1,221,038.16kWh

また、今年は、日本のみならず海外での消灯施設もありました。(韓国のソウルタワーなど)

キャンドルナイトの輪は、日本から世界へ、年々広がりを見せています。(2008年夏至・調べ)

多メディアに注目されています。

2008年夏至も多くのマスメディアで紹介されました。今年は、テレビでも特集が組まれるなど、より多くの一般の方に呼びかける機会がさらに多くなって来ました。

パブリシティ

テレビ、ラジオ、全国紙、雑誌など、さまざまなメディア約140媒体で紹介されました。

リンカラン ソニーマガジズ6月・7月号



ゲーマーズハート

GAMERS HEART



記者発表会の様子。テリイ伊藤さんと、八田亜矢子さん。キャンドル片手になっこり。

2008年夏至は、「100万人のキャンドルナイト」がオンラインゲームにもなりました。その名も「真・女神転生IMAGINEキャンドルナイト計画」！人気のゲーム「真・女神転生」のオンラインゲーム内で、キャンドルナイトの時間、世界が暗くなり、ゲーマーの心をひとつに。ゲームの世界でカーボンオフセット！オンラインゲーム内での活動がそのまま環境改善へとつながります。

賛同金で運営しています。

「100万人のキャンドルナイト」は、地球環境基金から550万円の助成(2008年版)とみなさまからの賛同金で運営されています。

2008年度の賛同金スタイルは、3,000円、10,000円、50,000円の3タイプが一般の方々、

企業は一口10万円のキャンドルホルダーをお願いいたしました。

収入は主に、キャンドルナイトを実施するための経費として、実行委員会が責任を持って使わせていただいております。

下記収支は、2008年夏至分(2008年10月現在)のもので、これはそのまま2008年冬至に引き継がれます。

2008年度 報告書用収支

収入	賛同金	7,080,000円	支出	夏至ウェブサイト制作+更新費	1,500,000円
	地球環境基金助成金	5,500,000円		サーバー構築+維持管理費	200,000円
	(残金3,690,000円)			フラッシュコンテンツ制作に関する費用	3,200,000円
				翻訳その他海外展開に関する費用	1,400,000円
				メインビジュアル制作、ポスター印刷費	1,590,000円
				ウェブサイトその他用取材・記録・原稿料	400,000円
				事務局人件費	600,000円
計		12,580,000円	計		8,890,000円

◎キャンドルホルダー

太陽光発電システム「見積工場」グローバル商事、太陽生命保険株式会社、東洋エクステリア株式会社、大地を守る会、松山油脂株式会社、三井住友海上スマイルハートクラブ、カメラマローソク、富士ゼロックス株式会社、100万人のキャンドルナイト@OSAKA CITY、株式会社アズ、北の住まい設計社、株式会社ゼネシス、トステム株式会社、株式会社日本エコシステム、カフェ・カンパニー株式会社、ゆめ画材、三井物産株式会社、らでいっしゅぼーや株式会社、株式会社ランダムハウス講談社、三菱地所株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社デンソー、八都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市)

◎50,000円以上の賛同者

株式会社ドゥレスコード、橋本稔(株式会社札幌中一)、野田智義、ネイチャーズウェイ オンラインショップ、川上工(リバグリーン株式会社)、株式会社秋川牧園、綜美薬品株式会社 斎藤京一、株式会社流通サービス、地球洗い隊、株式会社研空社、社団法人福岡県産業廃棄物協会北九州支部、株式会社please、高木剛(日本労働組合総連合会(連合)会長)、happy_yasu、絶対、大丈夫!しあわせを呼ぶブログ 自由人、LUXE CANDLES

◎10,000円以上の賛同者

夢木香株式会社、100万人キャンドルナイトin弘前実行委員会、佐伯一(前橋JC)、古木山 東伝院、アセロラ倶楽部 さとてーいち、中村泰三&美登里、(財)日本農業研究所 岸 康彦、住たい工房、NPO法人 こどもの森、あさか児童くらぶ学習館、大阪北新地karma(カーマ)、感動ファクトリー&おきなの社、Hein/A-TEAM DESIGN、Streamix Cafe、キャンドル専門店 Zakka Bakka、株式会社ロンチ、たかこのハーブ園、富山県生活協同組合、有限会社 ウェルズ、村井吉歌(早稲田大学教授)、西川栄郎(安全な食べものネットワーク オルター)、大河原 毅、ビデオマーケット、フォーエヌ有限公司、有限会社スターゲイズ、本橋成一(ボレボレタイムス社)、高野 孟(インサイダー編集長)、遠藤栄治(遠藤蒲鉾店)、越前百々子(食のスタジオ)、成清、オーガニックカフェ 木火土金水、宇都宮高明(有

限会社三里塚築業)、須田海(財)すこやか食生活協会、株式会社ほんの木崎崎真(イーブック・システムズ株式会社)、株式会社ゼンケン、ライオン菓子株式会社、近藤正明(長有研)、EINHAIEI(生命の泉)、SUPERB(スパープ)、きこえる・シンポジウム、ハンドメイドキャンドル カンデラマリア、株式会社浪漫堂、株式会社オルター・トレード・ジャパン、古川 康(佐賀県知事)、NPO法人ETIC、代表理事 宮城治男、三橋規宏(環境ジャーナリスト)、播磨靖夫(財団法人たんぼの家)、新保ちい子(生活クラブ生活協同組合)、川北秀人(IIHEO[人と組織と地球のための国際研究所])、井口俊之 井口食品株式会社、株式会社胆江日日新聞社、泉 庄治(道の駅 奥熊野古道ほんぐう)、株式会社トモス、一ノ宮 嘉道、株式会社ハーバー研究所、雨谷麻世(歌手)、橋爪康二(和子(株式会社旭商店)、グリーンコンシューマー研究会、イタリア食堂Buonappetito、東都生活協同組合、日本食品工業株式会社、岡崎 道子、UN JOUR、恵那山ねっと、100万人のキャンドルナイトin府中2008実行委員会、ぬちぐすいワゴンズ、新社会システム総合研究所、鈴木基司(みどりクリニック)、有限会社 大和急送、鎌田正彦、石丸製麺株式会社、小見寺孝子、鎌倉ユネスコ協会、川辺みどり(東京海洋大学 准教授)、YASUTA Veneered Surfaces & Design、株式会社 パイオニア福嶋、銭谷美幸、インフィニティ 飯島、株式会社いやさか(やしろたかひろ)、[f-ujiko]さんのインテリアライフ「藤原由美、有限会社 ibis、ECCアーティスト専門学校、大和田順子(ロハス・ビジネス・アライアンス(LBA))、ギャラリーカフェバー緑線、鈴木 真弓「鈴木さんちの玄米ごはん」、GOLD FINGER/MOTEL#203、レストラン ヤマダイ、株式会社ノーススペース、ホールアース自然学校、白石源次郎(株式会社花の企画社)、●●あんな事やこんなこと ●●～まったり我がまま育児日記～、ニーマルヨガ、菅谷 俊昭、アロマボックス、高橋 陽子、株式会社創和(東京21世紀ライオンズクラブ会員)、HAPPY!

◎3,000円以上の賛同者

株式会社SIO、UCI カナダ留学エージェント、あなたのえがおにみちびかれ、澤田佐一郎、坂垣 綾子、Spice Bowl、megu-candle、エサレンボディワークBlessing、Moo Moo "handmade kid's wear & goods"、キャンドルギャラリー+cafe koko katio、S-Mileカンパニー、

天然雑貨屋ヒノデカニ商店、宮澤 孝、やさしいおみせ、ブユース、大矢根昌三、ワークショップ企画 Luce (東京/横浜/名古屋)、Rollo Cafe、リラクゼーションスペース光、有限会社 郡山木材建設、中川達夫(星楼写真家)、ばばこういち(放送ジャーナリスト)、栗原彬(政治社会学者)、Flower Space LaNa(フラワースペース ラ・ナ)、いまココ。プロジェクト、中村靖彦、ハイパーブランド株式会社、岩波則康(NPOせっけんの街)、陽 捷行(北里大学)、杉野真司(三条市生涯学習インストラクターの会)、株式会社 商い創造研究所、荒井 牧、笠井 隆宏、アトミック 安保 慶記、punto design company、(社)新庄青年会議所、堂園メディカルハウス、大沼勝、有限会社 旭軒、Kazuaki, Rainbow Earth、リトルワンダース インターナショナルスクール、「遠い目をしていて、あの日の空。」平尾 亮、SOUP、リフォームプロ、富本雅人、菱川 理沙、星降る(代表:たかはしけんろう)、いしはら くみ、K&S.Fukayama、小原文夫、内海清慈、スタイルデザイン、13LUNA●Aromatherapy&Healing Shop、株式会社カネダ、佐々木利光、ku: design、ネットショップ「メ〜コレ」、宮川 崇、池田美由紀 池田興商、オープンスペース・えん、鷹巢 晃宏、200-2、大野 貴、whale artist あらたひとむ、☆21世紀おぼちゃん、グリーンコープかごしま、扇田 悦子、照井紀子、Julie's Candle(ジュリーズキャンドル)、こびの庭、アトリエてがき、藤井明人(NECフィールドイング)、小樽夢工房、Espass、ハッピーセーブルスマネージャー、想い出写真館 Lapis、Interior Design Room agree、北川晶誉&美鈴、小島寛太郎、アサヒアレックス株式会社 松澤美奈、岩田 敏一、さとうはなよ、浅岡 利江、早野 透(朝日新聞コラムニスト)、上田 肇一、鈴木隆之、株式会社 日本情報管理システム山根慎一郎、株式会社 インディメンティカービレ、株式会社 ホームデザインー級建築士事務所、渡邊巧、住空間創造 ゆいまーClub、中内心、Culla、Le Temps フランスより賛同、(有)ガルバンソ、またまたさこ、ボラロイドフィルムForever、220ポンドの笑顔、ニコニコタルマクラブひろき&じゅんこ、ANELA ALOHA TIME、a*pie-d、小林紀子、ALASKA会 代表 佐竹宏治、足立房夫、やなだ まさみ、きまぐれDINING 南野 洋一、(財)鳥栖地域振興財団、1000の世界、ふあるる、取り放題.com、菅野 祐介、maziko、LUV-CA*musashikoyama

いままでの実績詳細

- 2003年 夏至
- NGO発のよびかけに環境省が後援、新しい運動として、初めてながらも日本全国に広がりました。6月22日(日)には、全国約2,300箇所の施設が消灯、全国で約500万人が参加しました(環境省調べ・推計)。全国23都道府県で64イベントが開催されました。
- 冬至
- 全国18都道府県で、38イベントが開催されました。
- 2004年 夏至
- NGOと政府が2003年よりも強く連携。後援ではなく、連携という形で、環境省とよびかけを行なった結果、全国6,069箇所の施設が消灯し、日本全国で約640万人(環境省調べ・推計)が、様々な形で参加しました。また、この年より企業の参加も増え、ワタミフードサービス、損保ジャパン、ファミリーマートなど、さまざまな企業が施設の消灯や、社員へのよびかけを行ないました。
- ◎日時:2004年6月19日(土)~21日(月・夏至) 20:00~22:00
- ◎よびかけ人:約80名 坂本龍一(音楽家)、中嶋朋子(女優)、宮崎あおい(女優)、黛まどか(俳人)、加藤登紀子(歌手)、小林武史(音楽プロデューサー)、大貫妙子(音楽家)、市毛良枝(俳優)、渡邊美樹(ワタミフードサービス 代表取締役社長)、倉本聰(富良野塾)、増田寛也(岩手県知事)、堂本暁子(千葉県知事)、中田宏(横浜市長) 他
- ◎実施イベント:全国各地43都道府県で239イベントが開催されました。
- ◎パブリシティ:全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約140媒体で紹介されました。
- ◎受賞:グッドデザイン賞新領域部門受賞。キャンドルナイトには国産のものを食べようという特別企画「身近な食で地球を冷ませ!キャンペーン」は、地球温暖化防止環境大臣表彰受賞。
- 冬至
- 全国各地で110イベントが開催されました。
- 2005年 夏至
- 東京タワー、大阪城など、全国22,716箇所の主要施設が消灯しました。2004年は6,069箇所だったので、約4倍に増加しています。
- ◎日時:2005年6月18日(金)~21日(火)20:00~22:00
- ◎2005年よびかけ人:約90名 倉本 聰(作家)、忌野清志郎(バンドマン)、高橋恵子(女優)、小林武史(音楽プロデューサー)、潮谷義子(熊本県知事)、増田寛也(岩手県知事) ほか
- ◎2005年イベント:全国各地で311イベントが開催されました。
- ◎パブリシティ:全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約85媒体で紹介されました。
- 冬至
- 全国各地で152イベントが開催されました。



2008年夏至 | 写真 伊藤菜衣子

2006年 夏至

東京タワー、大阪城など、全国39,845箇所の主要施設が消灯しました。約81万kwhの電力の削減に繋がりました。韓国のNソウルタワーなど海外施設の消灯も実施されました。

◎日時:2006年6月17日(土)~21日(水)20:00~22:00

◎よびかけ人:98名 加藤登紀子(歌手)、坂本龍一(音楽家)、小林武史(音楽プロデューサー)、関野吉晴(旅人)、渡邊美樹(ワタミフードサービス 代表取締役社長)、増田寛也(岩手県知事)、堂本暁子(千葉県知事) ほか

◎実施イベント:全世界で473イベントが開催されました。海外では、アメリカ、韓国、モーリシャスなど6イベントが開催されました。

◎パブリシティー:全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約115媒体で紹介されました。

冬至

全国各地で282イベントが開催されました。

2007年 夏至

東京タワー、大阪城など、全国63,138箇所の主要施設が消灯しました。約300万kwhの電力の削減に繋がりました。消灯施設数は2006年の約1.6倍に増加しています。2006年に引き続き韓国Nソウルタワーの消灯も行なわれました。

◎日時:2007年6月22日(金)~24日(日)20:00~22:00

◎よびかけ人:108名 オノ・ヨーコ(芸術家)、坂本龍一(音楽家)、小林武史(音楽プロデューサー)、忌野清志郎(バンドマン)、大河原まさこ(参議院議員)、堂本暁子(千葉県知事)、水口憲哉(東京海洋大学名誉教授) 他

◎実施イベント:全世界で903イベントが開催されました。海外では、アメリカ、韓国、インドで5イベントが開催されました。

◎パブリシティー:全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約128媒体で紹介されました。

冬至

全世界で465イベントが開催されました。海外では、アジア、アメリカヨーロッパで39のイベントが開催されました。

100万人のキャンドルナイトは、一人一人が主催者になる活動ですが、みなさまのコーディネーターとして、発起人である「呼びかけ人」代表数名が定期的に実行委員会を招集し、毎年、夏至・冬至の開催に向けて、多くの「呼びかけ人」にこのムーブメントを呼びかけていただけるよう、さまざまな準備をしております。

実行委員会事務局では、毎年二回の開催に向けて、イベント企画、インターネットの運営、記録、プレスリリースなど、さまざまな準備をしています。

※100万人のキャンドルナイトは平成16年度、17年度、18年度、19年度、「独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金」の助成を受けています。

※100万人のキャンドルナイトは、2004年度グッドデザイン賞(新領域部門)を受賞しました。

100万人のキャンドルナイト事務局

担当:大野由紀恵・宇田川千夏・川越晃子

Tel 03-3402-8841 Mail :webmaster@candle-night.org

〒106-0032 東京都港区六本木6-8-15-2F(大地を守る会内)